

令和4年1月21日



国立研究開発法人森林研究・整備機構  
森林総合研究所林木育種センター

# 天女が羽衣をかけた<sup>はごろも</sup>と伝わる「羽衣の松」の 後継樹が里帰り

## —<sup>りんぼく</sup>林木 遺伝子銀行 110 番による樹木を増殖する取組—

### ポイント

天女が羽衣をかけた<sup>はごろも</sup>と伝わる「羽衣の松」（静岡県静岡市）の後継樹の苗木が、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター<sup>りんぼく</sup>から里帰りします。

### 概要

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター（茨城県日立市）では、我が国の貴重な林木遺伝資源の保存を図るとともに、品種改良等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。

この事業の一環として、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存と併せて、所有者等の要請により後継樹を増殖する取組である「林木遺伝子銀行 110 番」を行っています。

今回は、静岡県静岡市から増殖の要請を受けた「羽衣の松」（クロマツ）の後継樹として、つぎ木によって増殖し育てた苗木が里帰りします。

### 問い合わせ先

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター  
事業責任者：遺伝資源部 探索収集課 課長 <sup>おりべ</sup> 織部 <sup>ゆういちろう</sup> 雄一郎  
担当者：遺伝資源部 探索収集課 遺伝資源収集係長 <sup>ゆみの</sup> 弓野 <sup>すすむ</sup> 奨  
広報担当者：育種企画課 課長補佐 <sup>はしもと</sup> 橋本 <sup>こうじ</sup> 光司

Tel : 0294-39-7002 Fax : 0294-39-7306

本資料は、農政クラブ、農林記者会、林野庁林政記者クラブ、茨城・静岡の各県政記者クラブ、日立市役所記者クラブ、静岡市記者クラブ、静岡市関係報道機関に配布しています。

## 背景・経緯

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている天然記念物や巨樹・名木等が数多く存在します。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風雪に耐え生育し続けているので、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れている可能性が高く、林木遺伝資源として貴重なものです。

このため、林木<sup>りんぼく</sup>育種センターでは、これら巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、所有者等からの要請により衰弱しているこれら樹木の後継樹の苗木を増殖し、里帰りを行う取組である「林木遺伝子銀行 110 番」を平成 15 年から実施しています。これまでに、全国から 306 件の要請があり、229 件の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを実施してきました。後継樹の苗木は、さし木やつぎ木で増殖したクローン苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っていることから二代目として大きく成長することが期待されます。

## 内容

今回里帰りする後継樹の親木は、天女が羽衣をかけたと伝わる「<sup>はごろも</sup>羽衣の松」です。

今年で指定 100 周年を迎える名勝で世界文化遺産の構成資産にも登録されている<sup>みほのまつばら</sup>三保松原は、その緑豊かな松原と美しい<sup>さし</sup>砂嘴、天空に<sup>そび</sup>聳える富士山が織りなす風景で、古くから多くの人々を魅了してきました。その中心部にある「羽衣の松」は樹高 14.5m、胸高直径 121cm に達したクロマツの巨樹で、樹齢は約 300 年と推定されています。

平成 27 年 12 月に静岡県静岡市から後継樹の増殖を依頼され、当センターの温室においてつぎ木で増殖を実施し、5 本の苗木を育成することができました。このうち 2 本が令和 4 年 1 月 28 日に静岡市に里帰りし、三保松原に植栽されます。また、植栽に先立ち令和 4 年 1 月 29 日から 2 月 27 日まで、静岡市三保松原文化創造センター「みほしるべ」において展示されます。

## 図、表、写真等



「羽衣の松」写真提供：（一財）三保松原保全研究所



「羽衣の松」の後継樹 写真提供：林木育種センター